

所沢市(埼玉県)の一体的実施

平成23年9月1日事業開始

市役所庁舎内に「福祉・就労連携コーナー」を開設し、市とハローワークによる生活困窮者に対する一体的支援等を実施

市

福祉サービス、相談の実施等



国

職業紹介・職業相談の実施等

① 事業内容

- ・生活保護受給者、住宅手当受給者、母子家庭の母等の生活困窮者に対する支援
- ・若年者向けの合同面接会の開催

② 協定・事業計画

- ・所沢市長と埼玉労働局長の間で協定(*)を締結
- ・数値目標を盛り込んだ事業計画を所沢市と埼玉労働局の間で策定

* 協定の実施等について相互に要望することができ、出された要望には誠実に対応する旨を規定

③ 運営協議会

- ・所沢市職員、埼玉労働局職員、労使団体代表者をメンバーとする運営協議会を設置(所沢市長が会長)



市役所の福祉窓口の隣に「福祉・就労連携コーナー」を設置。市と国の職員が連携しつつ、市役所に訪れる市民に対する福祉から就労までの支援をワンストップで実現

(1) 実施体制

市

- ・ 就労支援員1名、ナビゲーター1名を配置

国

- ・ 就職支援ナビ1名
職業相談員1名を配置
- ・ 求人情報提供端末2台、
職業紹介端末 2台を配置

(2) 事業目標と取組状況

	24年度事業目標	取組状況(24年9月末時点)
生活困窮者に対する就職支援	◇102人以上の就職 (うち74人以上が紹介就職)	◇就職者数(そのうち紹介就職によるもの) 83人(57人)
	(参考)23年度目標(23年9月～24年3月) ◇36人以上の就職 (うち24人以上が紹介就職)	(参考)23年度実績(23年9月～24年3月) ◇75人の就職 (うち54人が紹介就職)
	◇面接会を3回開催予定 (若年者面接会と同時予定)	(若年者面接会と同時に開催)
	(参考)23年度目標(23年9月～24年3月) ◇合同面接会、職場見学会、セミナーを それぞれ1回以上実施	(参考)23年度実績(23年9月～24年3月) ◇若年者就労面接会 計3回開催 介護就職面接会 計2回開催
若年者に対する面接会開催	◇面接会を3回開催予定 ・参加者:延べ100人以上予定 ・紹介就職:15人以上予定	参加者数 / 就職者数 ◇7月25日 31人 5人 ※11月、2月にも開催予定
	(参考)23年度目標(23年9月～24年3月) ◇面接会を3回開催 参加者:延べ100人以上、紹介就職:20人以上	(参考)23年度実績(23年9月～24年3月) ◇面接会を3回開催 参加者:延べ106人、紹介就職:9人

一体的実施事業による就職成功例

女性：30代・希望職種：不明（過去に調理、販売経験あり）・直近の雇用形態：パート（雇用期間約半年）
→ 失業して生活費に困窮するなか「福祉・就労連携コーナー」を訪れ、支援を開始

① 抱える課題

- ・ 13歳と3歳の子供がいるため就職活動がままならない
- ・ 子供の預け先がない
- ・ 希望職種はある程度の収入が得られるのであれば不問

② 支援内容・ポイント・経過

- ・ 職歴をみると調理補助や販売の仕事が候補となるが、それでも二人の子供を抱えて自立できるだけの収入を得られて、スキルアップによって収入の増加が見込まれる仕事を共に検討。資格が要らない看護補助を第一志望として仕事を探し、見つからなかった場合は、職業訓練でヘルパー2級を取得し、介護職に就くというプランを作成
- ・ 子供が小さいため、夜勤がなく、家から自転車で通える範囲の病院を選択、その中でもまずは病院内の託児施設があるところを受けることとした。
- ・ 近所の保育園に一時保育の申し込みを行い、週4日の保育を確保するとともに、認可外保育園の空き状況を把握しておき、いつでも預け先が確保できるようにした。

③ 結果

- ・ 看護助手として正社員採用。夜勤は免除してもらえた。
- ・ 病院内に託児施設はないが、系列病院内の託児所を使えることとなった。

○ ハローワークの担当者の所感

本人の第一希望としての仕事探しから、子供の保育の関係を支援することで、安定した就職が早期の再就職が実現できたと思う。